

年間授業計画

高等学校 令和7年度(1学年用) 教科

地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書： (「わたしたちの歴史 日本から世界へ」 山川出版社)

使用教材： (「ダイアログ歴史総合」 第一学習社)

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 中学校までの歴史学習の上に、世界的視野に立った歴史認識を形成する。

【思考力、判断力、表現力等】 現代社会を形成してきた人間の営みとして歴史を正しく理解し、社会を批判的に考察する態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 民主的で平和的な国家社会を形成する市民としての自覚を持ち、国際社会の発展に主体的に貢献して

いく態度や能力を培う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を多角的にとらえ理解する。諸資料から歴史に関する情報を適切にまとめる力を身に着ける。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色、概念を理解し、それらを活用して歴史に見られる課題を把握、考察する。また考察した内容を効果的に説明する力を養う。	近代の歴史に変化に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする意欲・態度をやしなう。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	◆4月◆ 第2編 近代化と私たち 第2章 結びつく世界と日本 (1) 18世紀までの世界 【知識及び技能】 18世紀までの世界について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後 の影響について考察し、理解す る。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代 へのつながりを意識して学習に取 り組む。	第2編 近代化と私たち 第2章 結びつく世界と日本 (1) 18世紀までの世界 ①近世の日本と世界 ②18世紀の中国とアジア貿易 ③18世紀のイギリスとアジア、 アフリカ	【知識・技能】(ノート記述) 18世紀までの世界について理解できている。 【思考・判断・表現】(資料読解) 資料や図版などから各歴史事象が起きた背 景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】(発表) 各歴史事象の特徴・影響について、見通しを もって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	◆5月◆ 第2編 近代化と私たち 第2章 結びつく世界と日本 (2) 工業化と世界市場の形成 【知識及び技能】 工業化と世界市場の形成について 理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後 の影響について考察し、理解す る。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代 へのつながりを意識して学習に取 り組む。 定期考査	第2編 近代化と私たち 第2章 結びつく世界と日本 (2) 工業化と世界市場の形成 ④産業革命による経済発展と社 会 の変化 ⑤世界市場の形成とイギリスに よるアジア進出 ⑥日本の開国とその影響	【知識・技能】(ノート記述) 工業化と世界市場の形成について理解できて いる。 【思考・判断・表現】(資料読解) 資料や図版などから各歴史事象が起きた背 景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】(発表) 各歴史事象の特徴・影響について、見通しを もって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	◆6月◆ 第2編 近代化と私たち 第3章 国民国家と明治維新 (1) 国民国家と立憲体制 【知識及び技能】 国民国家と立憲体制について理解 する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後 の影響について考察し、理解す る。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代 へのつながりを意識して学習に取 り組む。	第2編 近代化と私たち 第3章 国民国家と明治維新 (1) 国民国家と立憲体制 ⑦2つの市民革命と近代民主主 義 社会の成立 ⑧国民統合とナショナリズム ⑨明治維新期の日本と世界 ⑩近代国家への移行と憲法の制 定	【知識・技能】(ノート記述) 国民国家と立憲体制について理解できている。 【思考・判断・表現】(資料読解) 資料や図版などから各歴史事象が起きた背 景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】(発表) 各歴史事象の特徴・影響について、見通しを もって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	◆7月◆ 第2編 近代化と私たち 第3章 国民国家と明治維新 (2) 帝国主義とアジア、アフリ カの 変容 【知識及び技能】 帝国主義とアジア、アフリカの変 容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後 の影響について考察し、理解す る。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代 へのつながりを意識して学習に取 り組む。	第2編 近代化と私たち 第3章 国民国家と明治維新 (2) 帝国主義とアジア、アフリ カ の変容 ⑪列強による帝国主義 ⑫帝国主義がアジア、アフリカ に もたらしたものの ⑬日清戦争とその影響 ⑭日露戦争	【知識・技能】(ノート記述) 帝国主義とアジア、アフリカの変容について 理解できている。 【思考・判断・表現】(資料読解) 資料や図版などから各歴史事象が起きた背 景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】(発表) 各歴史事象の特徴・影響について、見通しを もって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6

	定期考査	第2編 近代化と私たち 第3章 国民国家と明治維新	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		1
2 学 期	◆9月◆ 第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第2章 第一次世界大戦と大衆社会 （1）第一次世界大戦と国際社会 【知識及び技能】 第一次世界大戦と国際社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第2章 第一次世界大戦と大衆社会 （1）第一次世界大戦と国際社会 ①第一次世界大戦 ②社会主義革命 ③国際協調体制 ④アジアの民族運動	【知識・技能】（ノート記述） 第一次世界大戦と国際社会について理解できている。 【思考・判断・表現】（資料読解） 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】（発表） 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	◆10月◆ 第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第2章 第一次世界大戦と大衆社会 （2）1920年代の世界と大衆の時代の到来 第3章 経済危機と第二次世界大戦 （1）国際協調の挫折と2度目の世界大戦 【知識及び技能】 1920年代の世界と大衆の時代の到来、国際協調の挫折と2度目の世界大戦について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第2章 第一次世界大戦と大衆社会 （2）1920年代の世界と大衆の時代の到来 ⑤大衆の政治参加 ⑥女性の社会参加 ⑦大衆世界の形成 第3章 経済危機と第二次世界大戦 （1）国際協調の挫折と2度目の世界大戦 ⑧世界恐慌 ⑨ファシズムの台頭 ⑩日本の大陸進出 ⑪第二次世界大戦	【知識・技能】（ノート記述） 1920年代の世界と大衆の時代の到来、国際協調の挫折と2度目の世界大戦について理解できている。 【思考・判断・表現】（資料読解） 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】（発表） 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査	第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第2章 第一次世界大戦と大衆社会	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		1
	◆11月◆ 第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第3章 経済危機と第二次世界大戦 （2）世界大戦がもたらしたものの【知識及び技能】 世界大戦がもたらしたもののについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第3章 経済危機と第二次世界大戦 （2）世界大戦がもたらしたものの ⑫アジア太平洋戦争 ⑬戦争が変えた人々のくらし ⑭戦後世界の新たな枠組み ⑮敗戦後の日本とアジア ⑯冷戦下の東アジア	【知識・技能】（ノート記述） 世界大戦がもたらしたもののについて理解できている。 【思考・判断・表現】（資料読解） 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】（発表） 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	◆12月◆ 第4編 グローバル化と私たち 第2章 冷戦と世界経済 （1）冷戦と国際政治 【知識及び技能】 冷戦と国際政治について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	第4編 グローバル化と私たち 第2章 冷戦と世界経済 （1）冷戦と国際政治 ①脱植民地とアジア、アフリカ諸国 ②冷戦下の地域紛争 ③先進国の政治と社会運動 ④核兵器の脅威と核軍縮	【知識・技能】（ノート記述） 冷戦と国際政治について理解できている。 【思考・判断・表現】（資料読解） 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】（発表） 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査	第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第2章 経済危機と第二次世界大戦	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		1
	◆1月◆ 第4編 グローバル化と私たち 第2章 冷戦と世界経済 （2）世界経済の拡大と日本 【知識及び技能】 世界経済の拡大と日本について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	第4編 グローバル化と私たち 第2章 冷戦と世界経済 （2）世界経済の拡大と日本 ⑤西ヨーロッパ、東南アジアの地域連携 ⑥戦後の日本とアジア諸国との関係 ⑦高度成長	【知識・技能】（ノート記述） 世界経済の拡大と日本について理解できている。 【思考・判断・表現】（資料読解） 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】（発表） 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				4

3 学 期	◆2月◆ 第4編 グローバル化と私たち 第3章 世界秩序の変容と日本 (1) 市場経済の変容と冷戦の終結 【知識及び技能】 市場経済の変容と冷戦の終結について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	第4編 グローバル化と私たち 第3章 世界秩序の変容と日本 (1) 市場経済の変容と冷戦の終結 ⑧ 石油危機と価値観の転換 ⑨ アジアの成長 ⑩ 冷戦の終結	【知識・技能】（ノート記述） 市場経済の変容と冷戦の終結について理解できている。 【思考・判断・表現】（資料読解） 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】（発表） 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			3
	定期考査	第4編 グローバル化と私たち 第2章 冷戦と世界経済	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】			1
	◆3月◆ 第4編 グローバル化と私たち 第3章 世界秩序の変容と日本 (2) 冷戦終結後の世界 【知識及び技能】 市場経済の変容と冷戦の終結について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	第4編 グローバル化と私たち 第3章 世界秩序の変容と日本 (2) 冷戦終結後の世界 ⑪ 民主化の進展と冷戦終結後の日本 ⑫ 市場開放と経済の自由化 ⑬ 地域統合の進展と課題 ⑭ 情報通信技術の発達 ⑮ 冷戦終結後の紛争と平和への取り組み	【知識・技能】（ノート記述） 冷戦終結後の世界について理解できている。 【思考・判断・表現】（資料読解） 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】（発表） 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			4
						合計
						70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用）教科

公民

科目 公共

教科：公民 科目：公共

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：「公共」実教出版社

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】中学校までの公民学習の上に、世界的視野に立った公共認識を形成する。

【思考力、判断力、表現力等】現代社会を形成してきた人間の営みとして社会の仕組みを理解し、社会を批判的に考察する態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】民主的で平和的な国家社会を形成する市民としての自覚を持ち、国際社会の発展に主体的に貢献していく

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の諸事象について、世界とその中の日本を多角的にとらえ理解する。 諸資料から歴史に関する情報を適切にまとめる力を身に着ける。	社会を取り巻く諸現象の意味や意義、特色、概念を理解し、それらを活用して現代社会に見られる課題を把握、考察する。また考察した内容を効果的に説明する力を養う。	現代社会の変化に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする意欲・態度をやしなう。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 社会を作る私たち 【知識及び技能】 青年期の意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の特徴、心理的・身体的変化について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の一員としての自己とのかかわりについて、積極的に話し合い、学習に取り組む。	・青年期（思春期） ・キャリア発達 ・自己形成の課題 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 青年期の意義、キャリア発達、先哲の生き方を理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	単元 人間としてよく生きる 【知識及び技能】 先哲の思想の意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 先哲の思想の流れについて考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 現在に生きる自己と先哲の思想との関わり合いについて、積極的に話し合い、学習に取り組む。	・古代ギリシャの人間像 ・科学と人間 ・自由の実現 ・公正な社会を目指して 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 先哲の思想と歴史的発展の関連について理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、話し合いに積極的に参加し、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	単元 民主社会の倫理 【知識及び技能】 自由、平等、権利など民主社会の根幹に関わる概念について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	・人間と幸福 ・人間の尊厳と平等 ・自由と責任 ・権利と義務 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 自由、平等、権利など民主社会の根幹に関わる概念について理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、話し合いに積極的に参加し、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	単元 民主国家における基本原理 【知識及び技能】 政治の概念、国家権力、民主政治、基本的人権、社会契約、議会制民主主義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	・政治の概念 ・国家権力 ・民主政治 ・基本的人権 ・社会契約 ・議会制民主主義 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 政治の概念、国家権力、民主政治、基本的人権、社会契約、議会制民主主義について理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、話し合いに積極的に参加し、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	単元 日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 日本国憲法の理念、成立過程、基本的性格を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法が成立した歴史的背景やその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本国憲法の各条項について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組む。	・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本的性格 ・自由に生きる権利 ・平等に生きる権利 ・社会権と参政権・請求権 ・新しい人権 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 日本国憲法の理念、成立過程、基本的性格を理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7

2 学 期	単元 日本の政治機構と政治参加 【知識及び技能】 国会、行政権、裁判所、地方自治の特徴、経緯について考察し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について、その仕組みと社会に対しての影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	・国会 ・行政権 ・裁判所 ・地方自治日本の産業革命 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 国会、行政権、裁判所、地方自治の特徴、経緯、内容を理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各事象の内容について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	単元 日本の政治機構と政治参加 【知識及び技能】 政党政治、選挙制度、世論と政治参加について考察し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について、その仕組みと社会に対しての影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組む。	・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参加 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 政党政治、選挙制度、世論と政治参加の特徴、経緯、内容を理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各事象の内容について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	単元 平和主義と安全保障 【知識及び技能】 平和主義と安全保障法制の意義について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組む。	・平和主義の概念 ・PKOと自衛隊 ・日米安全保障条約 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識及び技能】 平和主義と安全保障法制の意義について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について原因とその後の影響について考察し、表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元 国際政治の動向と課題 【知識及び技能】 国際法、国際政治、国際連合の意義について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組む。	・国際政治の概念 ・国内法と国際法 ・国際連盟と国際連合 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識及び技能】 国際法、国際政治、国際連合の意義について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について原因とその後の影響について考察し、表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	単元 今日の国際政治 【知識及び技能】 人種・民族問題、平和の達成の意義や国際紛争の実態について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組む。	・人種・民族問題 ・冷戦構造と今 ・国際紛争の実態 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識及び技能】 人種・民族問題、平和の達成の意義や国際紛争の実態について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について原因とその後の影響について考察し、表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
						合計	70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科

教科： 地歴公民 科目： 地理総合

対象学年組： 第 2 学年 1 組・8組 6 組

教科担当者：

使用教科書：（ 帝国書院 新地理総合

教科 地理歴史 の目標： 歴史的背景を踏まえた考察ができるようにする。）

【知識及び技能】地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解

【思考力、判断力、表現力等】地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存

【学びに向かう力、人間性等】地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決し

科目 地理総合 の目標： 授業を通して、異なる文化や価値観を理解・共有できる人材を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに注目して、概念などを活用して多面的・多角的に考慮したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

地理歴史 科目 地理総合

単位数： 2 単位

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A単元 地図と地理情報システム 【知識及び技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理システムの役割や有用性などについて理解する。 地図や情報システムを用いて、その情報を収集し、読み取りまとめる基礎的・基本的な技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに注目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多目的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・教科書の図表から季節の変化・経度・緯度の考え方を読み取らせる ・プリント ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界の地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11
	B単元 結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・実際に時差を求めさせる。 ・世界にある国境を画像で紹介して、特徴、国境が決められた歴史的背景について考察させる。 ・地図帳 ・プリント ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	C単元 生活文化の多様性 【知識及び技能】 世界の人々の生活文化を基に、生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・世界各地の多様な生活文化を考察するにはどのような方法があるか、教科書や資料集を利用して、考察させる。 ・資料集 ・プリント ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	A単元 世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決させる。	・気候の違いによる植生、生活様式の違いについて考察させる。 ・教科書・資料集 ・プリント ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12

2 学 期	定期考査 B単元 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・現在、世界規模・地球規模で抱えている環境問題について考察させる。 ・プリント ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 【思考・判断・表現】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○		1
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A単元 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 【思考・判断・表現等】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 定期考査	・先進国・発展途上国それぞれが抱えている都市問題について、多面的・多角的にどうすれば持続可能な地域づくりができるか考察させる。 ・プリント ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史入門

教科：地理歴史 科目：日本史入門

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書：『詳説日本史』山川出版社

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】中学校までの歴史学習の上に、世界的視野に立った歴史認識を形成する。

【思考力、判断力、表現力等】現代社会を形成してきた人間の営みとして歴史を正しく理解し、社会を批判的に考察する態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】民主的で平和的な国家社会を形成する市民としての自覚を持ち、国際社会の発展に主体的に貢献していく

科目 日本史入門 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主に近現代の歴史の変化に関わる諸事象を中心に、世界とその中の日本を多角的にとらえ理解する。 諸資料から歴史に関する情報を適切にまとめる力を身に着ける。	主に近現代の歴史の変化に関わる事象を中心に、その意味や意義、特色、概念を理解し、それらを活用して歴史に見られる課題を把握、考察する。また考察した内容を効果的に説明する力を養う。	主に近代の歴史に変化に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする意欲・態度をやしなう。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
	A単元 日露戦争と帝国日本の形成 ・日英同盟と日露戦争 ・韓国併合と東アジア ・産業革命と資本主義の発達 ・桂園時代と社会問題 【知識及び技能】 ・列強の中国進出と日露戦争、韓国併合、中国革命、産業革命と資本主義の発達、桂園時代の社会問題の経緯、内容について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・列強の中国進出と日露戦争の関係を理解し、さらに戦争の過程から条約締結後の不満を考える。 ・韓国併合と中国の革命などが、東アジアの国際関係におよぼした変化について考えよう。 ・国内の産業発展の背景から、資本主義のしくみが整う道筋を考える。 ・産業の発展とそれにもともなう社会問題は政治や社会にどのような影響を与えたのか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	・日英同盟と日露戦争 ・韓国併合と東アジア ・産業革命と資本主義の発達 ・桂園時代と社会問題 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 日英同盟と日露戦争、その後の列強の中国進出と日露戦争、韓国併合、中国革命、産業革命と資本主義の発達、桂園時代の社会問題の経緯、内容について理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10

1 学 期	B単元 第一次世界大戦と帝国日本	・第一次世界大戦と日本の中国侵略 ・パリ講和会議と東アジアの独立運動 ・大戦による社会の変化と社会運動 ・大正デモクラシーの思想と大衆文化 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 第一次世界大戦と日本の中国侵略、パリ講和会議と東アジアの独立運動、大戦後の社会変化と社会運動、大正デモクラシーの思想と大衆文化の経緯、内容について理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	C単元 第一次世界大戦と帝国日本	・大戦による社会の変化と社会運動 ・大正デモクラシーの思想と大衆文化 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 大戦による社会の変化と社会運動、大正デモクラシーの思想と大衆文化について、その経緯や内容を理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期	D単元 政党政治の時代	・政党政治と国際協調 ・護憲三派内閣と協調外交のゆきづまり 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 政党政治と国際協調、護憲三派内閣と協調外交のゆきづまりの内容、経緯、内容を理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	A単元 第一次世界大戦前後の世界	・大衆運動の芽生え ・第一次世界大戦(世界と日本) ・国際協調 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 第一次世界大戦前後の世界と日本について、その特徴、経緯、内容を理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	B単元 軍国日本への道	・昭和恐慌と深刻な不況 ・満州事変と満州国 ・軍部の台頭と二・二六事件 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 昭和恐慌と深刻な不況、満州事変と満州国の建国、軍部の台頭と二・二六事件についての特徴、経緯、内容を考察し、理解する。またアメリカから始まった世界恐慌の内容、1920年代の日本の経済状況について考察し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C単元 軍国日本への道 太平洋戦争	・日中全面戦争の開始 ・国家総動員の開始 ・第二次世界大戦と太平洋戦争 ・戦時総動員の徹底と矛盾 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 日中戦争とその国内的影響、第二次世界大戦と太平洋戦争とその国内的影響についての特徴、経緯、内容を考察し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	○	○	○	7

3 学 期	D 単元 第二次世界大戦と日本 【知識及び技能】 第二次世界大戦の特徴、経緯、内容について考察し、理解する。また、太平洋戦争の勃発とその特徴、経緯、内容について考察し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	・第二次世界大戦 ・第二次世界大戦と日本 ・第二次世界大戦の終結 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 第二次世界大戦の特徴、経緯、内容について考察し、理解できている。また、太平洋戦争の勃発とその特徴、経緯、内容について考察し、理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	E 単元 現代世界の開幕と日本の戦後改革 【知識及び技能】 第二次大戦後の国際秩序と冷戦、日本の政治・社会・経済状況について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解する 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	・本土占領と戦後改革の開始 ・日本国憲法の制定と戦後改革の進展 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 第二次大戦後の国際秩序と冷戦、日本の政治・社会・経済状況について、その特徴、経緯、内容を理解することができている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	A 単元 高度経済成長の時代 【知識及び技能】 冷戦構造の固定化・その展開、またそれにもなつて日本の国内政治や経済状況がどのように変化していったか、その特徴、経緯、内容を考察し、理解する 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	・冷戦下の講和冷戦の展開と日本・保革の対立と55年体制 ・高度経済成長とそのひずみ ・暮らしの現代化 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 冷戦構造の固定化・その展開、またそれにもなつて日本の国内政治や経済状況がどのように変化していったか、その特徴、経緯、内容を理解することができている、 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				5
3 学 期	B 単元 ○冷戦の終焉と日本 【知識及び技能】 冷戦の終焉と国際社会の変容、55年体制の崩壊と日本政治の変化、よりよい未来にむけて冷戦の終結と現代世界・日本の課題について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解する。そのうえで現代世界、そして現代日本の諸課題について考察、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各歴史事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各歴史事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	・冷戦の終焉と国際社会の変容 ・55年体制の崩壊と日本政治の変化 ・よりよい未来にむけて冷戦の終結と現代世界・日本の課題 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 冷戦の終焉と国際社会の変容、55年体制の崩壊と日本政治の変化、よりよい未来にむけて冷戦の終結と現代世界・日本の課題について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解する。そのうえで現代世界、そして現代日本の諸課題について理解することができている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各歴史事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				5
							合計 70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 世界史入門

教科：地理歴史 科目：世界史入門

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：(1～6組：)

使用教科書：(世界史探究 高校世界史(山川出版社))

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解し、諸資料を活用しまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象を多面的・多角的に考察・説明したり、それらを基に意見交換したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 世界史入門

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 単元 古代オリエント世界 【知識及び技能】 古代オリエントの諸民族の活動について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古代オリエントの諸民族の社会や文化について説明、表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 古代オリエントの歴史や文化が現代に与えた影響について理解している。	・メソポタミア文明 エジプト文明 諸民族の活動 オリエントの統一 ・教科書、資料集、タブレットPC 小テスト	【知識・技能】 メソポタミア・エジプト・シリア・パレスチナなどの諸民族の活動について具体的に理解している。 【思考・判断・表現】 諸民族の社会、制度、文化について記述、論述することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代オリエント史で扱う事柄のうち、現代に繋がるものについて、正しく記述、論述することができる。	○	○	○	4

1 学 期	B 単元 ギリシア世界 【知識及び技能】 ポリスの成立と発展、その社会の特色を理解している。ヘレニズム時代における国家・社会の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ソロンやクレイステネスの政策やペルシア戦争とペリクレスの対応など影響に着目して、アテネの民主政への歩みとギリシア民主政の歴史的意義を多面的・多角的に考察・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 参政権や制度に着目して、ギリシアと現代の政治制度を比較し、その違いを多面的・多角的に考察し、表現している。	・アテネやスパルタの成立や発展 アテネにおける民主政への歩み ポリス社会の変容 アレクサンドロス大王の功績 ・教科書、資料集、タブレットPC 小テスト	【知識・技能】 ポリスの成長とその社会の特色について理解・表現ができる。 【思考・判断・表現】 政策や戦争の過程をふまえて、アテネの民主政が発展した歴史的意義が説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 既習内容であるローマと比較し、その合意形成の差異を指摘できる。現代の政治制度と異なる点について意見交換ができる。	○	○	○	6
	C 単元 ローマと地中海支配 【知識及び技能】 共和政および帝政のもとでの社会の変化について理解している。 ローマ文化の実用性や人々の思考や生活について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 都市国家ローマの征服活動、経済的格差の拡大、有力者の台頭という推移やその影響に着目して、ローマ共和政の社会について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ローマ帝国の支配方法を考察し、帝国が長期に繁栄した要因を発見する。	・都市国家ローマの征服活動 ローマ共和政の特色 ローマ文化の政策 ローマ人の生活やローマ文化 ・教科書、資料集、タブレットPC 小テスト	【知識・技能】 貴族と平民の対立と征服活動拡大の関連が理解できる。帝政の概要と領土の広がりが理解・表現できる。実用的なローマ文化について具体例が挙げられる。 【思考・判断・表現】 征服活動の拡大による社会の変質を段階を追って説明しようと試みる。前1世紀の有力指導者の言動から社会の変革を考察・意見交換することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ローマ帝国の支配方法とその影響を整理しまとめることができる。	○	○	○	2
	D 単元 キリスト教の成立と発展 【知識及び技能】 ローマ社会における被支配者層の生活を理解し、キリスト教がローマ帝国で広がった要因を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 キリスト教の教義や使徒の活躍、教会制度の整備などに着目し、キリスト教がローマ帝国で広がった要因を多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ユダヤ教・キリスト教で現在も守られている教えについて列挙し、こうした信者とのようにして共存していけばよいか意見が述べられる。	・社会における被支配者層の生活 使徒や教会制度 ローマ帝国で広がった要因 キリスト教公認・国教化の目的 現在のキリスト教 ・教科書、資料集、タブレットPC 小テスト	【知識・技能】 キリスト教成立の経緯とその信仰拡大の推移、ローマ帝国での迫害と公認が理解できる。 【思考・判断・表現】 ユダヤ教徒の比較やキリスト教の発展をふまえて信者が増えた要因が説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在も守られている教えや行動を具体的に挙げ、共存していくために必要な理解・配慮などを意見交換できる。	○	○	○	6
	定期考査			○			1
2 学 期	A 単元 アラブの大征服とカリフ政権の成立 【知識及び技能】 イスラーム教の成立及び発展の過程について順を追って理解している。 軍事征服された地域の文化や社会を変容させていく状況について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 軍事征服による領域の拡大とその経緯を、周辺諸地域の状況と関連付けたりしながら多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 あらたにイスラーム世界に組み込まれた地域の社会の変化が人々の生活にもたらした変化について話し合い、よりよい社会づくりに必要な視点を考察している。	・イスラーム教の成立 領域拡大の状況と地域社会の変化 イスラーム文化 ・教科書、資料集、タブレットPC 小テスト	【知識・技能】 イスラーム教の成立・発展について理解できる。軍事征服による支配領域の拡大と分裂について地図を用いながら説明ができる。 【思考・判断・表現】 カリフ政治の始まりや、ウマイヤ朝、アッバース朝の展開とカリフの権威の継承の経緯や特徴を整理できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム教を信仰する人々や国々とのよりよい関わりについて意見を出し合い、具体的な方策をまとめることができる。	○	○	○	7
	B 単元 ヨーロッパ世界の形成 【知識及び技能】 ゲルマン人のローマ帝国内への移動と部族国家形成の状況が今日にまでつなげる影響を持つことを理解している。 ビザンツ帝国が形成した独自の文明の在り方としての宗教や社会体制などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 フランク王国の形成と分裂に至る過程、封建社会の成立、ローマ・カトリック教会の力の伸長などを比較・関連付けして多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 西ヨーロッパとビザンツ帝国を宗教や政治体制のあり方から比較、関連付けて追究している。	・ヨーロッパ世界の形成の経緯 ゲルマン人の移動と部族国家形成 ビザンツ帝国の独自文明 ・教科書、資料集、タブレットPC 小テスト	【知識・技能】 ゲルマン人の移動・国家形成を理解できる。東のビザンツ帝国、西のフランク王国の特徴が理解できる。 【思考・判断・表現】 キリスト教と国家のかかわり方、両者の力関係の変動などについて関心を持ち、項目の整理や意見発表を通じて多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 西ヨーロッパとビザンツ帝国の宗教・政治体制について整理比較することができる。	○	○	○	8

	C 単元 東ヨーロッパ世界 【知識及び技能】 ビザンツ帝国やモンゴル人の影響をうけつつロシア帝国の基礎が築かれた状況を理解している。ビザンツ帝国の支配圏が外敵の侵入で縮小してゆく過程を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ノルマン人のスラヴ化やビザンツ帝国からのギリシア正教の受容などを経てやがてロシア帝国の基礎が築かれてゆく状況を、相互に関連づけながら考察し表現している。	・東ヨーロッパ世界の特色 スラヴ人の国家形成 ビザンツ帝国の勢力衰退 ・教科書、資料集、タブレットPC 小テスト	【知識・技能】 ロシアの成立・発展とビザンツ帝国のかかわりについて説明ができる。ビザンツ帝国の縮小過程とその理由が理解できる。 【思考・判断・表現】 ロシアの形成・発展の過程について、地図を用いた活動を通じて相互に関連付けながら考察できる。	○	○		3
	D 単元 西ヨーロッパの封建社会 【知識及び技能】 ローマ＝カトリック教会が皇帝権をもしのご権威を持つに至ったことを理解している。温暖な気候を背景に西ヨーロッパが拡大の動きに転じたこと、農業生産力の上昇や十字軍運動が商業の発展を促して中世都市が形成されたことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 カトリック教会と皇帝権との関係性を、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 キリスト教勢力とイスラム教勢力との抗争について、それぞれの立場からその主張と解決策を考察することができる。	・ローマ＝カトリック教会の成長 西ヨーロッパ拡大の動きと十字軍 農業生産力の上昇と人口増加 商業の発展と中世都市の形成 ・教科書、資料集、タブレットPC 小テスト	【知識・技能】 教会の成長と西ヨーロッパの拡大が理解できる。気候変動や農業生産力の上昇と人口の増加、商業の発展と中世都市の形成を関連づけて理解できる。 【思考・判断・表現】 カノッサの屈辱やアーネン事件などの象徴的なできごとを組み合わせながら、教皇と皇帝の関係性の推移について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 キリスト教勢力とイスラム教勢力の双方の立場について意見交換を行いながらお互いが尊重し合えるために必要とされることを提案できる。	○	○	○	8
	定期考査			○			1
	A 単元 宋とアジア諸地域の自立化 【知識及び技能】 周辺諸地域で政権交代があいつぎ、独自の国家が形成されたことを理解している。宋が、北方諸民族の侵入と外圧に苦しみ、その状況が宋の社会体制などに影響を与えたことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 モンゴル系キタイや西夏など周辺諸民族の中国への侵入とそれに対する中国の対応の在り方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 宋とアジア諸地域のつながりや影響を分析し、宋の東アジアにおける影響力について探究する。	・宋の東アジアにおける影響力 北方諸民族の侵入と外圧 宋代の文化 ・教科書、資料集、タブレットPC 小テスト	【知識・技能】 唐の滅亡後、周辺諸地域では中国文化の影響をうけつつも独自の国家が形成されたことが理解できる。宋が文治主義をとったことについて説明できる。 【思考・判断・表現】 宋が北方諸民族にどのような対処をしていたか説明できる。生活や文化について、唐の時代からの変容について指摘できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 「清明上河図」に登場する人物画から市民の生活の様子を読み取って整理することができる。	○	○	○	5
3 学 期	B 単元 モンゴルの大帝国 【知識及び技能】 華北、東ヨーロッパ、中央アジア、西アジアへと領域を拡大し、モンゴル帝国を形成する過程を理解している。 ・モンゴル帝国によりユーラシアの統合が行われ、ヒトやモノ、情報の移動や流通が活発化し、「世界の一体化」の一端が形成されたことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ムスリム商人を主とする交易が展開され東西交易路が結びついたこと、交易路を通して西方からカトリックの宣教師や商人が訪れたことの意味や影響を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 モンゴル帝国が衰退した要因について探究する。	・大モンゴル帝国の領域と支配体制 ユーラシアの統合と交易への影響 ・教科書、資料集、タブレットPC 小テスト	【知識・技能】 モンゴル帝国の形成過程とその支配体制の特徴について理解できる。ヒトやモノ、情報の移動や流通が活発化したことが理解できる。世界の一体化が促されたことが理解できる。 【思考・判断・表現】 さまざまな東西交易路の発達や西方世界からの来訪者について整理し、意見交換を通じてその目的や影響について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 モンゴル帝国が衰退した理由を解説しているホームページのサイト等から情報を収集し、その内容の妥当性を検討することができる。	○	○	○	6
	C 単元 アジア交易世界の興隆 【知識及び技能】 朝鮮半島の状況、明の樹立の経緯について理解するとともに、明朝が形成した朝貢世界の実態や特色について理解している。イエズス会士がもたらした西洋技術の流入について、その意義や特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 海外からの銀の流入が社会に影響を与えて新たな税法が導入されたことや、西洋の科学技術が導入されて文化や学問に影響を与えたことを、多面的・多角的に考察し、表現している。	・モンゴル帝国解体後の朝鮮半島 明の樹立とその政治体制 朝貢貿易の特色 ・教科書、資料集、タブレットPC 小テスト	【知識・技能】 明の成立と政治体制、朝貢貿易促進と海禁や倭寇、西洋技術の流入について理解できる。 【思考・判断・表現】 16世紀における世界規模の銀の移動について、日本、マニラ、ヨーロッパ、メキシコ等の拠点とともに図示できる。	○	○		5
	定期考査			○			1

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用）教科

公民

科目 政治・経済

教科： 公民 科目： 政治・経済

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1・2・3・7組： ）（4組・5組・6組・8組： ）

使用教科書： 「政治・経済」東京書籍

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】中学校までの公民学習の上に、世界的視野に立った公共認識を形成する。

【思考力、判断力、表現力等】現代社会を形成してきた人間の営みとして社会の仕組みを理解し、社会を批判的に考察する態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】民主的で平和的な国家社会を形成する市民としての自覚を持ち、国際社会の発展に主体的に貢献していく

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する。 諸資料から政治や経済に関する情報を適切にまとめる力を身に着ける。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力などを養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 経済活動の意義 【知識及び技能】 経済的なものの考え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済的な思考について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己と経済とのかかわりについて、積極的に話し合い、学習に取り組む。	・希少性の概念 ・トレードオフの考え方 ・経済体制の課題 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 希少性、トレードオフ、資本主義を理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	単元 資本主義経済の発展と変容 【知識及び技能】 経済の発展の意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済の発展の流れについて考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 現在に生きる自己と経済の発展との関わり合いについて、積極的に話し合い、学習に取り組む。	・産業革命 ・見えざる手 ・夜警国家と福祉国家 ・イノベーション 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 経済体制と歴史的発展の関連について理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、話し合いに積極的に参加し、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	単元 現代経済のしくみ 【知識及び技能】 商品、市場、価格メカニズムなど市場経済の根幹に関わる概念について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	・商品 ・市場 ・需要と供給 ・価格メカニズム 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 商品、市場、価格メカニズムなど市場経済の根幹に関わる概念について理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、話し合いに積極的に参加し、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	単元 現代経済のしくみ 【知識及び技能】 国民所得、景気循環、金融制度、財政制度について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象が起きた原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	・国民所得 ・景気循環 ・金融制度 ・財政制度 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 国民所得、景気循環、金融制度、財政制度について理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、話し合いに積極的に参加し、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	単元 日本経済の発展 【知識及び技能】 戦後日本経済、高度経済成長、安定成長、バブル経済を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の日本経済システムが成立した歴史的背景やその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 戦後の経済発展の流れについて、現代経済へのつながりを意識して学習に取り組む。	・ドッジラインと安定恐慌 ・第一次高度成長と第二次高度成長 ・ドルショックとオイルショック ・ブラザ合意とバブル景気 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 高度経済成長やバブル経済の基本的性格を理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各歴史事象が起きた背景、経緯について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	単元 日本経済の現状 【知識及び技能】 失われた30年、リーマンショック、アベノミクスの特徴、経緯について考察し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について、その仕組みと社会に対する影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代へのつながりを意識して学習に取り組む。	・少子高齢化、人口減少社会 ・失われた30年 ・リーマンショック ・アベノミクス 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 失われた30年、リーマンショック、アベノミクスの特徴、経緯、内容を理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各事象の内容について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7

2 学期	定期考査			○	○		1
	単元 日本経済の課題 【知識及び技能】 環境問題、食糧問題、消費者問題について考察し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について、その仕組みと社会に対しての影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組む。	・環境問題 ・食糧問題 ・消費者問題 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識・技能】 環境問題、食糧問題、消費者問題の特徴、内容を理解できている。 【思考・判断・表現】 資料や図版などから各事象の内容について考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各事象の特徴・影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	単元 日本経済の課題 【知識及び技能】 雇用問題と社会保障問題の意義について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組む。	・雇用問題 ・社会保障問題 ・少子高齢化 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識及び技能】 雇用問題と社会保障問題の意義について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について原因とその後の影響について考察し、表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学期	単元 国民経済と国際経済 【知識及び技能】 国際収支、外国為替市場、戦後国際経済の意義について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組む。	・国際収支の考え方 ・外国為替市場と為替レート ・戦後経済体制 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識及び技能】 国際収支、外国為替市場、戦後国際経済の意義について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について原因とその後の影響について考察し、表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	単元 世界経済の現状と課題 【知識及び技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題の意義やグローバル経済の実態について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について原因とその後の影響について考察し、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組む。	・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・グローバル経済の実態 板書・プリント・ICT機器を使用	【知識及び技能】 地球環境問題、資源・環境問題の意義やグローバル経済の実態について、その特徴、経緯、内容を考察し、理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 各事象について原因とその後の影響について考察し、表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 各事象の特徴について、現代社会へのつながりを意識して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
						合計	
							70